

令和7年(2025年)12月10日(水)
(公財)広島平和文化センター 平和文化振興部
平和学習課長 西田
電話：242-8861 内線：5816
E-mail：suishin@pcf.city.hiroshima.jp

サンフレッチェ広島新人研修の一環で、ユース・ピース・ボランティアによる被爆の実相の説明などの平和学習を実施します。

1 概要

サンフレッチェ広島と広島平和文化センターの共催で、Jリーガー1年目のサンフレッチェ広島新人選手を対象に、ユース・ピース・ボランティア（※）が、平和の軸線上に位置するエディオンピースウイング広島で被爆の実相を伝え、新人選手と一緒に平和について議論するグループ・ディスカッションを行い、新人選手に「ヒロシマの心」を共有していただきます。

※ ユース・ピース・ボランティア

国内外から来広する若い世代と、グループ・ディスカッションやガイド活動等を通して交流し、被爆の実相や平和の尊さを発信する広島を中心とした中高大学生。

令和7年度は、480人（国内対応333人、国外対応138人、専門研修9人）が活動

2 日時及び会場

日時：令和7年12月13日（土）14時00分～16時00分

会場：エディオンピースウイング広島

（サッカーミュージアム前スタート）

3 プログラム

- ・ 広島平和文化センター会長（広島市長）挨拶
- ・ 新人選手とユース・ピース・ボランティアによるサッカースタジアム見学
- ・ ユース・ピース・ボランティアによる活動紹介と原爆被害の概要説明
- ・ 新人選手とユース・ピース・ボランティアによるグループ・ディスカッション
テーマ「サッカーが平和のためにできること」
- ・ 記念撮影

4 参加予定者

(1) サンフレッチェ広島新人選手 3名

中村 草太 選手 (FW)、井上 愛簾 選手 (FW)、ヒル 袈依廉 選手 (GK)

(2) ユース・ピース・ボランティア 12名

中学生 (7名)、高校生 (5名)

【取材についてのお願い】

取材していただく場合は、令和7年12月12日（金）正午までに、社名、取材人数、当日の御連絡先を平和学習課までメールでお知らせください。

なお、取材に関する情報は、サンフレッチェ広島と共有させていただきます。